

# 日課に強い拒否を示す 利用者様への支援

～A様の入所施設における1年間の取り組みについて～

社会福祉法人 尚恵厚生園

知的障害者入所支援施設 尚恵厚生園

支援員 青柳理音 石神香里 居舘美奈穂

平成28年11月11日

# 《A様のプロフィール》

- ・昭和51年5月生まれ(現在40歳) 女性 区分6
- ・既往症:知的障がい、てんかん、自閉症

## (ご家族構成)

- ・父:平成25年死去
- ・母:父死去後、特養に入所中
- ・兄:県内で自営業、現在の主たる支援者
- ・姉:県外在住、平成27年6月に面会以来、月1回は面会に来られる)

# 《尚恵での短期利用前のご様子》

- ・生育歴 : 言葉が遅かった。3歳6か月頃、児童相談所に相談検査後、障がいがある事を指摘される  
市内の個人病院等に通院  
市内養護学校(当時)小、中等部卒業後、在宅生活  
入所施設の短期利用を利用されながら生活をされていた

## \* お姉様からのお話

養護学校時代は落ち着いていたとの事、在宅になってから、大声、破壊などの不安定な行動が見られるようになったとのこと  
お父様からの指示通りに生活をしてきたとのこと

# 《当園での短期利用までの経過》

- ・平成22年頃まで、B園の短期利用をしながら在宅生活  
その後、トラブルがあり、利用できなくなった
- ・平成24年4月 父親(主たる支援者)が入院、尚恵成人寮(入所支援施設)で短期入所利用を2か月半利用
- ・平成24年7月 父親退院の為、短期利用終了  
引き続きご家族から要望があり、月7日で短期利用
- ・平成25年1月 父親逝去。在宅での生活が不可能、尚恵成人寮での長期の短期入所利用開始  
月に1回、兄宅に帰省
- ・平成27年4月 成人寮改築引っ越しに伴い、尚恵厚生園(入所支援施設)での短期入所利用開始

# 《ご本人の生活の様子》

- 【起床】
  - ・7時頃までの起床時間に声をかけても起きない
  - ・布団を片付けても、自分でまた敷き直し寝てしまう
- 【着替え】
  - ・朝からパジャマ姿で1日中過ごすことあり
  - ・好きな衣類(長袖)に拘りあり
- 【食事】
  - ・食べ始め、食べ終わりに時間がかかる
  - ・尖った物を耳に入れるので、スプーンを使用
  - ・食事中、大声を発する、食器を投げる等の行為があるので、皆と一緒にの食堂では食べられず、自室で摂る
  - ・朝食を食べない事がある

## 【トイレ】

- ・拘り強い
- ・トイレに入ると出てこない。眠ってしまう事もあり  
最長記録・・・成人寮13時間、厚生園12時間
- ・トイレに間に合わず、部屋や、ゴミ箱などに排尿してしまうことあり
- ・トイレの鍵をかけてしまうので、安全上鍵を外して対応
- ・トイレから出てこられない時は、スタッフ2人で両脇を抱えて出ていただく事もあり

## 【言葉】

- ・ダメ！ たべたい！ いらね～！ 大声や奇声

- 【入浴】
  - ・大声を出して拒否、毎日入浴できず、トイレなどにこもる
  - ・4、5日入浴できなかった時は、スタッフ二人がかりで強制的に入浴、着替え、洗体を行う
  - ・石鹸の泡に拘り、泡が無くなるまで身体をこする
  - ・入浴後、服を中々着る事ができない。最長5時間
  - ・脱衣室で排尿
- 【入床】
  - ・朝方眠ったり、トイレで眠る
  - ・部屋の電気、衣類に拘り、布団に入れない事もある
- 【作業】
  - ・トイレにこもり、日中活動ができない

## 【その他】

- ご本人の意図としない支援（スタッフの強制的な支援）  
に対して、スタッフに対し噛みつき、引っ掻き、叩く、  
物を投げる事があり
  - \* ご本人は悪いと思っているような様子
- 大きな声を出す（他の利用者さんが落ち着かない）
- 次の行動に移る時、指で測るような行動をとる
- 音楽が好き
- 歯科通院治療はできる
- 和室8畳の二人部屋、同室の方を嫌がる様子ない



【内服薬】 市内精神病院

- クエチアピン酸100mg : 強い不安、緊張を取り除き気分を安定
- クエチアピン酸25mg
- フェノバルル錠 : てんかんの痙攣を抑える
- アレビアチン錠 : //
- リスペリドン錠 : 不安、緊張、興奮を取り除く
- サイザル錠 : アレルギー薬

# 《寮での支援の統一》

○27年4月11日

- 起床 : 6:30~7:00に声をかけて、布団を押し入れに片付ける
- 朝食 : 朝食前にトイレの声掛け。朝食時間は9:00まで
- 昼食 : 朝食を食べられなかったら、昼食は多めに
- 夕食 : 17:00にトイレの声かけ、18:00頃までには食べて頂く  
夕食後は、パジャマをお渡しする
- 入床 : 23:00には部屋に誘導、明日の着替えをカゴに用意
- トイレ : 基本は和式に誘導
- 入浴 : 月・木 朝から着替えの服を用意し、入浴を知らせる

しかし、中々うまくいかない・・・・・・・・

トイレから出てこない・・・・・・・・

朝食は食べ始めない、ご飯は時間がかかる・・・・・・・・

お風呂のたびに大騒ぎ・・・・・・・・、大声・・・・・・・・、

自閉症特有のこだわりと違うような・・・

こまった・・・・・・・・、

ご本人の生活の混乱を防ぐ、悪い経験をさせたくない



スタッフの支援の統一が必要

個人的な見解をなくす



スーパーバイザーが必要

県立あすなろの郷に施設支援の依頼をする

# 《相談のお願い》

あすなろの郷へ

平成27年5月1日

## 【問題と思われる事】

- ・拘りが強く、新しい場面展開が困難
- ・生活リズムを整えて、少しでも楽な生活をしていただきたい

## 【行動の原因と思われる事】

- ・主たる支援者のお父様が亡くなり、生活が変わった事

## 【支援側の問題点】

- ・短期利用までの生活様子がわからない
- ・「ごはんですよ」⇒「ダメ～！」「かたづけます」⇒「たべた～い！」  
本心なのか、言葉がうまく使えないのかわからない

## 【支援ポイントのアドバイス】

- ・支援の成果を、数値的、客観的にわかりやすくする。
- ・タイマーを使ってスケジュールを作る。
- ・1日のスケジュール表を作り提示する。
- ・行動の記録をとり、データ化する。
- ・おやつは選べるようにする。

## 【支援の目標】

☆生活リズムを整える事ではなく、自主的な動きを増やして、主体的な生活を過ごして頂くことである。

☆指示待ちの生活ではなく、ご自分から動ける場面を増やしていく。

# 〈寮での支援の統一〉

○平成27年5月23日

\* 生活リズムを作り、次の日課へのきっかけ作り

- 起床 : 6:30起床。掛布団を押し入れにしまうと起きてくれる。  
トイレの声掛け
- 朝食 : 自室で食べる。基本9:00まで
- おやつ : 皆と一緒にDRで食べる。
- 昼食 : 寮のDRのテーブルで食べる。
- おやつ : 3時のおやつも皆と一緒にDRで食べる。おやつ後お風呂の  
着替えを渡す。
- 夕食 : 昼食と同じ。基本19:30まで夕食後は皆と一緒に過ごす。  
お茶後、パジャマを渡す。
- 消灯 : 21:00

# ≪支援計画期≫

県立あすなろの郷による施設支援の期間

- 【第1期】 アセスメント・観察・記録・データ収集  
H27、6月～7月
- 【第2期】 具体的な支援開始  
H27、8月～9月
- 【第3期】 何もしない期(厚生園リフォームで仮住まい生活)  
H27、10月～12月
- 【第4期】 主体的な生活に向けて  
H28、1月～3月



# ≪第1期≫アセスメント・観察・データ収集期

○施設訪問① H27年6月4日

## 【ご本人の様子】

- ・食事 : 4月よりは食べられるようになったが、奇声、食器を投げる事がある
- ・入浴 : 月、木に入浴ができるようにはなったが、拒否もある  
スタッフ二人がかりで支援を行う事もある
- ・トイレ : 拒否の奇声を発し出てこない
- ・行動 : 無理強いをすると、奇声、スタッフを噛む、抓る事がある
- ・笑顔 : 5月頃より、少しずつ見られるようになっている
- ・拘り強く、日課の場面の切り替えができず、集団の日課がこなせない

## 【支援の課題、目標】

### ① 食事、入浴をポイントに記録をとり、支援を行う

食事：メニュー、食材、食感、形状など、好きか嫌いかな？

時間を測り、献立と照らし合わせてみる

入浴：時間を測り、様子を見ていく

スムーズに入浴ができれば褒める、強化する

### ② 記録のポイント

食事の所要時間

ア、声掛け(居室に運ぶ時間)から、食べ始めるまでの時間

イ、食べている時間

入浴の所要時間

ア、声掛けから浴室に入るまで

イ、浴室から脱衣室に出るまで

ウ、着衣して脱衣室から出るまで

# 【今後の支援方針の確認】

- ☆ ご本人の自発性を重視し、自発的に日課をこなせるようにする。
- ☆ 支援を通して、行動が改善されるだけでなく、QOLの向上を目指すこと。
- ☆ 実施可能な範囲で、個別の対応を行うこと。

様 食事の所要時間に関する記録用紙（時間はおおよそで結構です）

①食事の声掛けをしてから（居室に運んでから）、食べ始めるまでの時間

②食べ始めから、食べ終わるまでの時間（時間を切って終了した場合も記載）

日付	朝、昼、夕 開始時間 場所	場面	所要時間 (分)	特記事項
				(例 大声で「だめー」と繰り返した 食器を投げた 指先で測る動作を繰り返した スプーンで少量ずつ食べた 等)
6 月 14 日	朝  8 : 55  場所 居室	①	<del>10</del> 65 分	起床後トイレ。7:50 23分を待たせ、 2トビヤエシキを待たせ、おしり、声出、こい。
		②	18 分	トイレから出るとすぐに食卓はじめる 食後トイレへ 11:00 前出る
	昼  11 : 40  場所 自室	①	10 分	おはなを見せるとすぐに自室へ向う
		②	<del>12</del> 29 分	落ちた2食パン 声出たへ
	夕  18 : 05  場所 自室	①	25 分	声掛けで自室へと移動する。しばらくしてから、スプーンを持って 食べ始める。
		②	23 分	落ち着き完食する。片付けのときだけ、少々「うー」と言う 事があり。

入浴

6月18日(木) 15:30	①	15:30-16:20 50分	16:10 脱衣所へ。 お風呂に入る。
	②	16:50 30分	お湯を温めておく。 スーツに出ている。
	③	17:25 35分	服を着るまでに時間がかかるので着用の始めから スーツに着て出ている。
6月19日(金) 15:15	①	38分	お風呂後しばらく椅子に座っている。(30分くらい) 脱衣所に入ってから、すぐに服を脱ぐ。(8分くらい)
	②	21分	体を洗う時も、浴槽に入る出る時もスーツ。
	③	100分	
6月20日(土) 15:20	①	70分	声かけに拒否せられ、なかなか向かえず。 「お風呂」「お風呂」のくり返し。
	②	25分	浴槽の時間は短く、お風呂、「はいはいせん」と伝え、お風呂 と言った「お風呂だぞ」と伝え、お風呂と言った。浴槽の水を ぬく。 <del>お風呂</del> 洗体のみ終了、「お風呂は済ませます」と言うので「はいはい」
	③	77分	と言った。脱衣所へ入った後、お風呂を脱ぎ、出てくる。
			なかなか向かえず

# こ ん だ て 表 月

日付	曜日	あさ	ひる	ゆう
6/10	水	パン. テンゲと粟のピーアア 之いと302のスクランブルエッグ アリン 牛乳	ごはん. とりのからあげ <sup>お</sup> アクリター もやしのおえもの アITもの	ごはん. 5つ子等の煮物 豆腐とひき肉のカレー煮 大根アアア. ス-ア°
		食バア	① 0分 ② 70分	① 12分 ② 80分
6/11	木	ごはん. 生揚げと昆布煮 梅じや和え. アリカア みそ汁. 牛乳	親子丼 清汁 トートのア-アアアええ おバアのホ-アアアえ	ごはん. 金平アアア あいのんアアア. ホアアアア 菓アアア. みそ汁
		食バア	① 5分 ② 20分	① 0分 ② 50分
6/12	金	ごはん. 5L子のかアア ふきのアアア煮. 味アア みそ汁. 牛乳	パン ヲアアアア アアア豆乳アアア バアア	ごはん. アアアア煮 卵豆腐のかにあアアア アアアアアアアアア みそ汁
		① 0分 ② 70分	① 0分 ② 45分	① 21分 ② 22分
6/13	土	ごはん. アリ煮 わアアアアアアア アリカア. みそ汁 アアアアアアア	3-わアアアアア アアアアアアアアアア アアアアアア アアアアアアア	ごはん. アアの相アア アアとアアアアのみアアア 花野菜の和え物. 清汁
		① 9分 ② 11分	① ② 70分	① ② 41分

## ○施設訪問②

H27年7月13日

### 【ご本人の様子】

- ・食事 : 朝食は10:00までには食べ終わる。昼食と夕食は可
- ・入浴 : スムーズに入れる時と、大声で拒否することあり  
泡がなくなるまで身体をこするなど、様子は変わらず
- ・その他 : 決まった時間には起床するが、その後のトイレから  
出られず、スタッフ二人がかりで出ていただく  
日中活動では、内容を選択して取り組まれる  
(ペグさし、ボールペンの組み立て)  
CDなど音楽が好き

## 【今後の支援】

### ○記録で分かった事

- ・食事の献立、所要時間に関連性がない事
- ・1日に2食以上の拒否はない事
- ・行動の停止は、スタッフ二人で声をかけると、次の支援に移りやすいこと
- ・6月は以前より、食事、入浴の時間が短縮されている事
- ・声掛けだけで、スムーズに行動できる場面が多く記録されている事



## 【3点を柱とした支援】

- ① 適切に日課をこなすことができている時、その行動を強化するための手続きを設定すること
- ② 何もすることがない時に、拘りが生起しているので、充実した余暇時間を検討すること
- ③ 作業や音楽を楽しんでいることから、できる活動を伸ばす方法を検討すること

# ≪第2期≫ 具体的な支援開始

## 〈寮の支援の統一〉

平成27年8月13日

### ○言葉かけの統一

- ・褒め言葉 : 「凄いね」「おりこうだね」「えらいね」
- ・注意の言葉 : 「迷惑です」「静かにします」
- ・トイレにいる時 : 「〇〇終わりの時間です、トイレから出て来て下さい」  
数を数えて、タイミング作り

### ○視覚的な統一

- ・褒めた事がわかる為に、台紙に花を貼り褒める  
いっぱいになったらケーキを提供

### ○余暇時間

- ・音の出る絵本、CDラジカセ

### ○作業時間

- ・作業の始まり、終わりをわかりやすくする。音楽をかける  
作業開始→「おもちゃのチャチャチャ」 作業終了→「カエルの歌」



## ○施設訪問③

H27年9月14日

### 【ご本人の様子】

- ・食事 : 昼食、夕食は問題なし  
朝食は8月は食べていたが、9月に入ると食べない
- ・入浴 : 予定日は何とか入浴可  
浴室、入浴後の脱衣室での排尿はある
- ・トイレ : 8月はトイレにこもる事が多い
- ・作業 : ボールペンの組み立て、シュレツダー  
初めの曲「おもちゃのチャチャチャ」はわかる
- ・台紙の花 : 自分から「お花」と笑顔になる。褒められていることがわかる
- ・余暇 : 音の出る絵本、ラジカセ
- ・その他 : 8月の盆踊り、宴会、マクドナルドに外出
- ・内服薬 : アレビアチンの血中濃度が高く、昼食分を減らす  
安定剤を入床時に内服

## 【今後の支援】

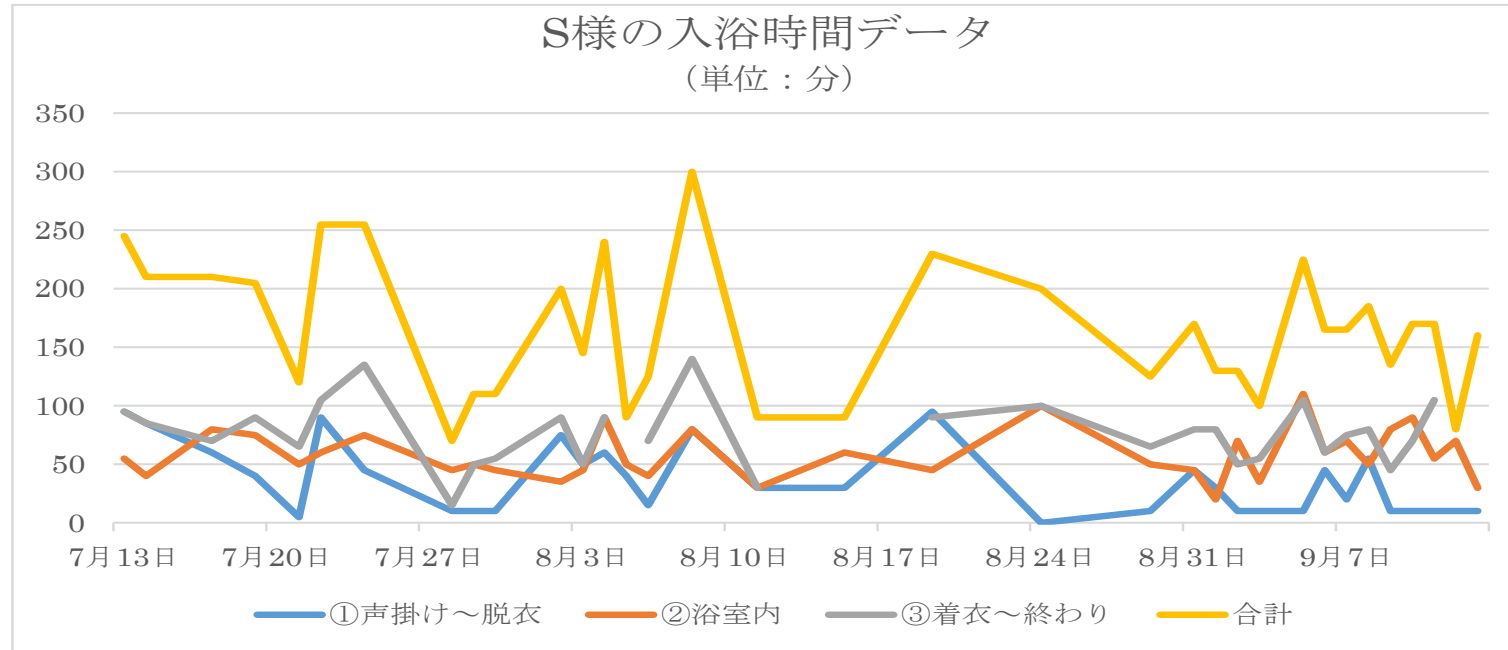
- ・日課に花をもらう場面を増やす
- ・行事などを楽しむ様子が見られ始めているので、活動の充実を積み重ねる

## （留意点）

- ・良い経験を積み重ねることで、良くない行動は減っていく次のステップにつなげる。たくさん褒める
- ・新しい経験をして、新しいスキル、コミュニケーションを身につける

## S 様の入浴時間の経過について

いただいた記録をグラフにしたものは以下のとおりです。



### 7 月からの記録で変化のあったこと

- ・ 入浴にかかる合計時間は、若干ながら減少傾向にあること。(黄色の線の頂点が、右下がりの傾向か??)
- ・ 内訳としては、①の声掛け～脱衣までの時間が特に減少していること。(これは明らか)
- ・ 入浴を拒否する頻度が8 月後半から減少していること。(9 月の入浴拒否が少ない)

スタッフの皆様の支援の成果が表れつつあると思います。

このグラフの延長線が、より右下がりになることを期待しております。

# ≪第3期≫ 何もしない期（仮住まい期）

\* 厚生園リフォームの為、全員で旧成人寮に仮住まい  
10月14日～12月22日まで

・ご本人にとっては、また大きな環境の変化

に・・・ 生活が、少しずつ良くなってきている時だったの

## ○施設訪問④

平成27年10月30日

### 【ご本人の様子】

- ・居室 : 一人部屋 ドアを閉めてしまい廊下から見えない
- ・食事 : 起床時トイレにこもり、朝食は食べない
- ・入浴 : 週に半分くらい入浴  
しない日は居室でCDを聴く、トイレにこもる
- ・作業 : 参加できない事が多い

### 【今後の支援】

- ・環境の変化に伴い、新しい支援はしない
- ・作業に参加できるように、ご褒美を考える ⇒ ハイチュウの提供
- ・ケーキのご褒美を2週間に1回もらえるように励ます



## ○施設訪問⑤ 平成27年12月10日

### 【ご本人の様子】

- ・食事 : 毎食、自室で食べられる
- ・入浴 : 週に2回位入浴 (自室のこたつに入ってでてこない)
- ・トイレ : こもることが多い、生理中は特にトイレ
- ・作業 : ボールペンの組み立て、シュレッダー
- ・余暇 : CDを聴く
- ・その他 : 仮住まい生活に慣れてきている

### 【今後の支援】

- ・落ち着いてきているので、仮住まい中はこのまま様子を見ていく
- ・作業のご褒美のハイチュウの提供の方法

\* 12月22日リフォーム終了し厚生園に戻る

# ≪第4期≫ 主体的な生活に向けて

○施設訪問⑥ H28年1月26日

## 【ご本人の様子】

- ・食事 : 朝食は食べない事もある
- ・入浴 : 「ダメ」と言いつつも自分から浴室に行く事がある  
服を脱ぐことができずシャワー浴、着替えのみもあり  
入る気がない時は、着替えをタンスに片付けることあり
- ・作業 : プログラムを決定  
掃除(ほうき、モップかけ)→おやつ→自分の作業へ  
ご褒美のハイチュウの効果か、散歩にも行ける
- ・月に1回のお姉様の面会を楽しみにされている様子あり

## 【今後の支援】

- 入浴可 → お花を貼る → ケーキが食べられる  
一連の流れが理解できていないのではないように感じられる  
お花→「嬉しい！」につなげる
- 作業中のハイチュウのご褒美の効果あり、作業に意欲
- 記録は、一週間分をデータ化する  
できたら○ できなかつたら×  
スタッフの共通認識を高める ⇒ 見える化
- カレンダーに毎日しるしをつけていく  
1日が終わったら×をつける 明日への認識

H28

日付	2/1	1/2	1/3	4	5	6	7	合計
曜日	月	火	水	木	金	土	日	
起床後トイレの時間	X	11:00 14:10 X	8:00-9:30	10:00~10:30	X	8:40-11:30	X	
朝食	X	X	O	X	X	X	X	1#
AM作業参加(ハイチュウ)	X	X	O	X	X	/	/	1#
昼食	O	X	O 14:00-14:20	O	O 15:50分 14:00	O 14:00 14:20	O 11:45起床 12:30食	6#
PM作業参加(ハイチュウ)	O	X	X	X	X	/	/	1
入浴(花)	O	全員なし	X	X	O	X	X	2
入浴声掛け時間	15:20	/	X	X	15:20	X	X	/
入浴終了時間	19:30	/	X	X	18:10	X	X	/
夕食	O	O	O	O	O	O	O	7
入床時間	26:00	21:30	23:30	24:10	23:00	23:40	23:20	
大声・パニック	AMx PM・入浴時	夕方	O	TFL	TFL	PM 14:00	TFL	4
笑顔	AMx PMx	X	X	X	PM O	X	夜後 O	2
備考	PM CDデッキCD 預かる。 16:00 入浴時・リズパドル 内服。	夕方・CDデッキ渡す。 14:00 リズパドル 1本 夜・眠気が強い様 パジャマに着替えに 入床入眠。	起床後トイレ時 トイレカーテンに物 ぶらぶらと音を出して 10:10 リズパドル1本 16:50 内服 夕方 CDデッキ渡す 音・大声・眠気 を覚悟して	1日過度に 声かけはせが 何事にも 「ダメ」と言われる。	半日眠りたが 穏やか。 13:00に起きた 12:00内服 夜は23:00服9時 XBR.		朝・声はかたが 昼前起床。 夕食後、DP 18:50の70分 お風呂に2回入る。 寝ている。 FU 浴槽掃除	4:30に工 事はない 大騒ぎ。

寝不足の  
AM 音のせい  
で起きる

洗面所の所で声を出していたが  
職員2人と相違なく移動する  
事が出来る。

日付	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	合計
曜日	月	火	水	木	金	土	日	
起床後トイレの時間	6:50~	6:40-8:50	7:40-	8:00~9:00	9:00	<del>6:40</del>	6:40~8:40	
朝食	○	○	×	○	○	○	○	6/7
AM作業参加(ハイチュウ)	○	○	×	○	/	-	/	3/4
昼食	○	○	○	○	○	○	○	7/7
PM作業参加(ハイチュウ)	×	○	○	○	/	-	/	3/4
入浴(花)	○ <small>花</small>	替りのみ	○	○	○	○	○	6/6
入浴声掛け時間	<small>昨夜から今日まで</small> 15:30	15:30	15:30	15:30	15:30	15:30	15:15	
入浴終了時間	<small>大泣き、声出し、泣き</small> 17:20頃	17:20頃	18:00	17:20	17:30	17:40	17:00	
夕食	○	○	○	○	○	○	○	7/7
入床時間	22:10	22:10	22:20	22:15	22:10	22:15	22:20	
大声・パニック	○	○	× 頻	○	×	なし	なし	3
笑顔	○	○	-	○	○	○	○	6
備考	生理開始 PM 16:00頃に 拘り脱衣場 で泣く。 夕方大声で 11:00に内服	朝、00T-11:2T 内服。 15:30に大声。 夕食時に泣き出し、 以降は静か。 笑顔あり。	朝、00T-11:2T, 一度薬の服用あり。	夕方スムーズ 笑顔あり	流水にのみ泣いては、 調子良く泣く	夕方以降 流水にのみ 来ている。	1日音楽を聴いては、 流水にのみ泣いては、 小さい声で泣き出し、 泣き止む。 流水にのみ泣いては、	



11  
NOVEMBER  
2016



10  
2016  
2 3 4 5 6 7 8  
9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29  
30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	<del>X</del> ㄟ 大安	<del>X</del> ㄟ 赤口	3 ㄟ 先勝 ㊦ 文相の日	4 ㄟ 友引	5 ㄴ 先負
6 ㄟ ㄴ 仏滅	7 ㄟ 大安 ㊦ 立寄	8 ㄟ 赤口	9 ㄟ 先勝	10 ㄟ 友引 ㊦ 丁巳この日と申す(満徳日)	11 ㄟ 先負	12 ㄴ 仏滅
13 ㄟ ㄴ 大安	14 ㄟ 赤口	15 ㄟ 先勝	16 ㄟ 友引	17 ㄟ 先負	18 ㄟ 仏滅	19 ㄴ 大安
20 ㄟ ㄴ 赤口	21 ㄟ 先勝	22 ㄟ 友引 ㊦ 小室	23 ㄟ 先負 ㊦ 懸針垂露の日	24 ㄟ 仏滅	25 ㄟ 大安	26 ㄴ 赤口
27 ㄟ ㄴ 先勝	28 ㄟ 友引	29 ㄟ 大安	30 ㄟ 赤口	1	2	3

## ○施設訪問⑦ 平成28年2月26日

### 【ご本人の様子】

- ・食事 : 昼食と夕食は可
- ・入浴 : 2月25日から、入浴日は月・水・金・日曜日にする  
二人がかりで誘導し、入浴することあり
- ・作業 : シュレッダーを落ち着いて行える事が多い

### 【今後の支援】

- ・入浴 : 入浴して花をもらえる事を定着させる  
安定して入浴できる⇒自発的に！
- ・その他 : 騒いでいるときは無理をしない  
新しい事にトライする時は、ご本人の調子が良い時  
記録の書式はわかりやすく、見やすくする  
問題行動を失くすのではなく、QOLを高めていくこと

- 〈寮の支援の統一〉 2月26日
- ・10時のおやつ : 毎日お掃除(モップかけ)をしてからおやつ
  - ・台紙の花 : 入浴後、ご本人と一緒に貼る
  - ・ハイチュウ : 午前、午後の作業終了後にお渡し
  - ・スケジュール : カレンダーに記入 寝る前に記入  
明日の予定を伝える「仕事ですね」
  - ・夕食 : 食べ始めてから1時間内に
  - ・土日の過ごし : シュレッダーは行わない  
ご本人の希望、CDラジカセなど
  - ・パジャマ : 2月から着替えない、良しとする
  - ・入浴 : 服は棚に置く  
3月から入浴日は月、火、木、金、日



## ○施設訪問⑧ H28年4月22日

### 【ご本人の様子】

- ・食事 : 3食完食できるようになっている
- ・入浴 : カレンダーに印を表示、ご本人も理解できている  
入らない日の声掛けをすると、ニコニコしている
- ・作業 : リトミック、ドライブ、散歩、シュレッダーなど参加
- ・余暇 : 休日が理解できる、カラオケ、貼り絵などの活動参加  
自室でCD鑑賞、園の行事は楽しそうに参加

### 【今後の方針】

- ・髪の毛を抜く行為が始まる ⇒ 他に好きな活動を提供
- ・ご褒美は、おやつではなく、褒め言葉に徐々に移行していく
- ・入浴は、ご本人の意思でできるように
- ・新しい事を行う時は、傍においてご本人からくるのを待ち、行った時は褒める
- ・記録の継続、好ましい行動の強化に繋がる

以上、8回にわたる県立あすなろの郷の施設支援は  
とりあえず終了となる。

# ＜＜約1年の支援のまとめ、結果＞＞

大声、トイレにこもる、お風呂に入らない、食べない、着替えない



女子寮の中が大混乱



支援の統一が必要

・支援者側との関係性ができていない



・情報が少ない

・行き当たりばったりの支援

第3者からの意見、スーパーバイザーの必要性

統一された見やすい記録の重要性

☆目で見えて評価が確認、曖昧なスタッフの主観的な意見がなくなる

チームワークの向上

## ☆第3者からの意見、スーパーバイザーの必要性

- 1、職員の主観的な意見をなくす
- 2、一丸となって考えていく過程の重要性(意見の交換)
- 3、悩みの共有、助けてくれるという強い存在
- 4、良かった点、改善点を評価して、次への支援につなげていくことができる

## ☆統一された記録の重要性

- 1、シンプルな表記、基準の統一、ご本人の変化がわかりやすい
- 2、支援に対する評価がわかりやすい「見える化」
- 3、振り返る時に、検索しやすいように言葉の統一

## ☆チームワークの向上

- 1、その時の支援に対する共通理解
- 2、ご本人の笑顔が見たい、安定した生活の場になって欲しいという思い
- 3、スーパーバイザーから評価を得ることで、更に支援の向上に繋がる

## 【支援側の観点】

### ○目標

問題行動を失くすことではなく、ご本人が主体的に笑顔で生活できるようにすること

- |               |     |   |
|---------------|-----|---|
| 1、自己効力感       | ・・・ | 自分が行為の主体であると確信<br>自己に対する信頼感、有能感                       |
| 2、自己決定に向けた支援  | ・・・ | ご本人、支援者との良好な関係<br>様々な選択や機会の提供                         |
| 3、利用者主体とは     | ・・・ | 肯定的な利用者理解<br>主体性を引き出すための支援<br>対人援助には画一的な正解はない         |
| 4、行動の背景を考える   | ・・・ | 創意工夫し、柔軟かつ自在にかかわること<br>情報収集、受容的な態度<br><u>職員間の共通理解</u> |
| 5、記録をとることの重要性 | ・・・ | 客観的、気づかなかった行動が見えてくる、<br>支援仮説が立てられる ⇒ 振り返り、修正          |



## 今回の支援のツボ(外部者の視点から)

- スタッフの方々が、A様の笑顔と強みに着目したこと。
- 個々人の対応では、心が折れてしまうような、強力な行動問題に対して、チーム力で乗り切ったこと。
- 施設で陥りがちな集団生活の平等主義でなく、困っている人を優先して対応したこと。(個別にご褒美を提供すること、特別に個室を提供すること等)
- 管理者が上記のことに理解を示し、支援しやすい環境づくりをバックアップしたこと。



まだまだ、ご本人のことはわからない・・・

今も、トイレの中で、怒っていることがある・・・

♡A様の笑顔、スタッフを笑顔にさせてくれる♡

♡苦勞されてきたご家族も笑顔になる♡